



富良野市

R5年1月  
第50号

# ファミサポ通信

富良野市ファミリー・サポート・センター

〒076-0025

富良野市日の出町9-2

ヤクルト富良野センター2階

電話・080-5834-1885

e-mail [fms.furano@ezweb.ne.jp](mailto:fms.furano@ezweb.ne.jp)



お知らせです。

今年度は、コロナの感染拡大とインフルエンザの流行により交流会の開催を中止いたします。

ファミサポが会員の皆様の情報交換、ふれあいの場所になれるように努力をしたいと思いますので、今後とも色々なご意見をお聞かせ頂けたらうれしいです。

「近くまで来たのでよってみました！」も大歓迎です。

こんにちは、皆さんいかがおすごしですか？

アドバイザーの西村です。今年もよろしくお願ひします。

私の正月休みと言えば雪はねで始まった様な気がしています。みなさん疲れていませんか？ 春が待ち遠しいですが無理をしすぎないように適度な休憩を挟み、豆まき、ひな祭り等季節の行事も楽しみたいですね！

## 11月、12月の依頼件数と人数



・ 幼稚園、保育所終了後の預かり	3件
・ 習い事への送迎	57件 (62名)
・ 学校行事の預かり	2件 (3名)
・ 買い物など外出時の預かり	12件
・ 軽度の病後児の預かり	1件
・ 保護者の臨時・突発時の預かり	26件 (27名)
<b>合計</b>	<b>101件 (108名)</b>



両方会員、提供会員の皆さんにお願いです！



夕方からの習い事の送迎が増えています。会員の皆さんに声を掛けていないのが実情です。「ちょっとお手伝いしてみようかしら」と言う会員さんがいましたら是非ともファミサポまで連絡をしていただけたなら嬉しいです。

## 子は親の鏡

- ・けなされて育つと、子どもはひとをけなすようになる
- ・とげとげした家庭で育つと、子どもは乱暴になる
- ・不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる
- ・「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもはみじめな気持ちになる
- ・子どもを馬鹿にすると、引っ込み思案な子になる
- ・親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人をうらやむようになる
- ・叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」とおもってしまう
- ・励ましてあげれば、子どもは自信をもつようになる
- ・広い心で接すれば、キレる子にはならない
- ・誉めてあげれば、子どもは明るい子に育つ
- ・愛してあげれば、子どもは人を愛する事を学ぶ
- ・認めてあげれば、子どもは自分が好きになる
- ・見つめてあげれば、子どもは頑張り屋になる
- ・分かち合うことを教えれば、子どもは思いやりを学ぶ
- ・親が正直であれば、子供は正直であることの大切さを知る
- ・子どもに公平であれば、子どもは正義感のある子に育つ
- ・優しく、思いやりを持って育てれば、子どもは優しい子に育つ
- ・守ってあげれば、子どもは強い子に育つ
- ・和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは此の世は良いところだと思えるようになる

『子どもが育つ魔法の言葉』

## 豆知識・雑学!!

- ・樽の中のウイスキーの自然蒸発は「天使のわけまえ」と呼ばれている。
- ・きゅうりは世界一栄養のない野菜としてギネスに認定されている。
- ・レモンの酸味の原因はビタミンCでなくてクエン酸。
- ・アンパンマンの飛行速度は秒速7.9 km (マッハ23)
- ・ジャンボジェット機の燃料はリッター50~60m  
東京→ロサンゼルスで燃料580万円。
- ・ゲゲゲの鬼太郎のねずみ男はロシア出身
- ・目黒駅は目黒区でなく品川区にある。
- ・品川駅は品川区でなく港区にある。
- ・豊島園は豊島区でなく練馬区にある。



## おむつかぶれとカンジダ性皮膚炎

おむつの時期になりやすいのが、「おむつかぶれ」と「カンジダ性皮膚炎」。この2つの症状はよく似ていますが、自己判断で間違ったケアをしてしまうと、悪化することも。違いを知って正しいケアをすることが、お子さんの大切な肌を守ります。



### おむつかぶれ

おしっこやうちに含まれるアンモニアや酵素などが刺激となって、おむつにふれている部分の肌が炎症を起こす

### 原因

おむつが当たる部分に赤いぶつぶつした発しんができる。痛みやかゆみが出て、赤くただれがあることも

### 症状

おむつ替えのたびに患部を洗い、乾燥させた後おむつを着ける。ケアをすれば数日で治る。ひどい場合は病院で処方されたステロイド剤などを塗る

### ケア

### カンジダ性皮膚炎

カビの一種カンジダ菌が、またやおしりなどのこすれやすい部分に感染して炎症を起こす

おむつが当たらないまたの奥やおしりのしわなどにも、赤い発しんや、皮がむけたような湿しんがで、ただれる

病院で処方された薬を塗る。おむつかぶれの薬を使うと悪化することもあるので注意。処方された薬は決められた期間塗り続け再発を防ぐ

